

令和5年度

事務事業外部評価

評価結果報告書

令和5年12月

蕪崎市事務事業外部評価委員会

この「評価結果報告書」は、令和5年10月5日、10月6日に実施した韮崎市事務事業外部評価委員会による評価をもとに作成したものであります。

1 実施内容

令和5年度評価対象事業は、内部評価47事業の中から、事前に外部評価委員が希望した事業を中心に24事業を対象として選択しました。

- (1) 日時：令和5年10月5日（木）、10月6日（金）
- (2) 会場：韮崎市役所4階 403会議室
- (3) 公開の有無：一般公開
- (4) 評価方法：事業評価シートによる聞き取りを行い、委員評価の多数決で採択

2 評価結果

「拡大」1事業、「全部改善」4事業、「一部改善」15事業、「継続」4事業となり、「縮小」及び「廃止」と評価された事業はありませんでした。

各評価の概要は、以下のとおりです。

○「拡大」：1事業 スポーツコミッション事業費

本事業は、地域スポーツ振興体制の確立と、スポーツツーリズムの推進による関係・交流人口の拡大及び地域の活性化を図ることにより、「ウェルネスの実現」に基づく持続可能なまちづくりを目指す事業です。

スポーツを通じた市民の健康拡大のために重要な事業ですが、イベントの開催に当たっては、実施種目を工夫するなど、誰もが参加できるイベントの実施を目指していただきたいこと、また、イベントPRに際しては、幅広い集客のため、外部委託を実施するなど、より一層の事業目的の達成を望み、拡大としました。

○「全部改善」：4事業

武田の里まつり補助事業費、持家住宅定住促進事業費、青少年対策事業費、赤ワインの丘ブランド化推進事業費

○「一部改善」：15事業

職員研修費、地積管理費、定住促進住宅管理費、包括的支援事業、社会福祉協議会支援事業費、病児病後児保育所運営費、児童センター管理運営費、空家等対策推進事業費、健康診査事業費、学校安全体制整備事業費、消防団運営事業費、地区活動推進事業費、障害者等地域生活支援事業費、公共下水道運営事業費、まちづくり活動推進事業費

○「継続」：4事業

家庭児童相談員設置事業費、廃棄物処理対策事業費、不妊症対策支援事業費、男女共同参画社会づくり事業費

「一部改善」・「継続」とした事業については、常に創意工夫をしながら単に前例を踏襲することなく事業を実施し、課題に取り組んでいただきたいと思います。

なお、事業評価結果については、結果一覧を参考に効果的な事業実施につなげていただきたいと思います。

以上、各評価結果に対する意見の概要ではありますが、これは断片的な意見でもありますので、詳細は『令和5年度事務事業外部評価委員会開催結果』を参照してください。

3 むすび

今年度も、24の事務事業を対象として評価をしました。個々の事業としては、着実に実施されていると思います。

今後もPDCAマネジメントサイクルを行うなかで、「この事業は、本当に公が責任をもって行うべき事業であるか。市民にとって必要な事業であるか。」といった視点で事業を分析し、職員一人一人が経営感覚を持って、事業を実施していただきたいと思えます。

また、1つの事業を担当課のみで実施するのではなく、必要に応じて各課間で連携、調整を行い、横断的に事業を実施し、また、市民に分かりやすい形で周知するなど、効率的で効果的な市民サービスの向上につなげていただきたいと思います。

今後は、より一層の人口減少や少子高齢化の加速等により、社会保障費等の増加が見込まれます。限られた財源、人員で市民の望むサービスを最大限提供していただけることを望みます。

また、評価対象事業に選定されなかった事業についても、常に問題意識を持ち、今回の評価結果を踏まえ、より効率的、効果的に実施されるよう改善していただきたいと思います。

最後に、市が掲げる将来像の実現のため策定した第7次総合計画を着実に実行し、目標指標達成に向け、全力で取り組まれることを期待しております。

令和5年12月5日

韮崎市事務事業外部評価委員会

委員長 井原 久光

委員 志村 久美子

委員 金山 雄一郎

委員 横森 由賀

委員 齊木 美和

令和5年度事務事業外部評価委員会開催結果（10月5日、10月6日 市役所4階 403会議室）

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
1	武田の里まつり補助事業費	全部改善	全部改善	そもそも何のためのイベントなのか。お客さんに多く来ていただきたいが渋滞が・・・という話では、事業として成り立っていない。 事業実施の基本に戻って議論する必要がある。
			全部改善	昨年、一昨年、それ以前の開催状況を整理する必要がある。 市民参加型という目的が薄れている。何のためのフェスタ韮崎なのか目的をよく検討した方がよい。 目的が決まれば自ずと開催場所も決まってくるはず。
			全部改善	市内全体で実施できるフェスタだとさらに良い。 集客をすることで市のPRをしていただきたい。
			全部改善	市への愛着をはぐくむという面で、市民の方々は大変楽しみにしている一大イベントでもある。 しかし、コロナ禍を経てイベントの在り方や人々の意識も変化しており、実施方法や実施場所について精査が必要。
			一部改善	場所などの検討は確かに必要だが、市外の人々の注目度が高いため、キッチンカーコンテストなど、事業自体は良い事業だと思う。 市内に住んでいても、日程などの基本的な情報があまりわからないため、広報の仕方にも工夫が必要。
2	職員研修費	一部改善	一部改善	研修のオンライン化をうまく活用して欲しい。 研修の成果指標についても検討が必要。
			一部改善	職員研修は非常に重要であるため、どのような手段で実施すれば職員に効果が出るのか検討して欲しい。
			一部改善	全職員が職務に準じた内容の研修に参加できる仕組みが必要。 ワーキンググループの発足は評価している。 参加率の向上につながるような研修メニューであると良い。
			継続	非常に大切な事業。 業務に影響がない程度にオンラインなどを活用し、今後も継続して行ってほしい。
			一部改善	研修というのは実施すればよいというものではなく、何の成果を得るための学びが明確にすべき。 総合的にオンラインを有効に活用するためには、独自のアウトプットの仕組みを作成すると良い（実施→改善→実施）。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
3	地籍管理費	一部改善	一部改善	情報共有の方法を検討すること。
			継続	法務局との調整は、多くの問題を含んでいる点もあるかと思うが、市として市内の地籍が活用されやすいような努力をお願いしたい。
			一部改善	適正な土地管理のためには、必要なことなので、スピードある対応をとるため、システム化は必要。関係機関各所との調整にもスピード感をもって対応できると良いと思う。
			一部改善	市民に必要な事業なので、継続でも良いとは考えるが、スムーズな業務実施のため、データ化の推進を依頼する。
			一部改善	膨大なデータを管理するシステムを導入するためには費用と労働量が増加すると思うが、今後を考えると、情報のデータシステムを導入すべきである。
4	定住促進住宅管理費	一部改善	全部改善	事業目的が明確になっていない。市営住宅事業のように低家賃の住宅を供給するためなのか、移住促進が目的なのか。眼前の入居率や修繕費以外にもより幅広い視点を持つことが重要である。
			一部改善	定住促進住宅自体、今後どのように活用していくのか整理した方がよい。入居率の向上も重要である、事業自体の目的を定めるべき。事業計画があるのであれば、計画変更する等、検討した方がよい。
			一部改善	改修により入居率が向上するのは好ましい。賃料の値上げが困難であるなら、入居率の向上に努めて欲しい。社宅の利用は良いアイデアだと思う。
			一部改善	定住促進のため、市民が快適に過ごせるよう、住環境の改善をして欲しい。
			一部改善	転入者を増加させるためには何が最適か市内全体で考える必要がある。長寿命化に対しての取組みが定住に繋がるのかは疑問である。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
5	持家住宅定住促進助成事業費	全部改善	全部改善	人口対策の担当部署と連携して周辺の行政実態を調査しながら改善していくこと。
			全部改善	事業内容を名称を含み全部改善をしても良いと思う。 助成金を増額しても定住促進に繋がるとは限らない。
			全部改善	現在新たな制度内容を検討しているとのことだが、制度そのものを終了させることなく、定住促進のための事業であることを鑑み、目的達成のため、全部改善とした。
			全部改善	令和5年度が見直しのタイミングであることから、現在の目的が達成されているか検証し、制度を精査していく必要がある。
			全部改善	対象者に年齢制限がある方がよい。 制度周知のためにも、SNSなどで容易に検索できるようなわかりやすい名称にすべき。 助成金額の大小ではなく、この助成金があることに意味があると思う。
6	包括的支援事業 (介護保険特別会計)	一部改善	一部改善	大切な事業である。
			一部改善	非常に大切な事業。 高齢者の増加と相談件数の増加は避けられない。 この事業とは別に、相談件数を減らす施策を早いうちに検討していかなければならない。
			一部改善	直接人が動かなければ解決しない事案が多いかと思う。 対応する機関がコンパクトにまとまることにより、業務のスピードが上がると思う。
			継続	大変重要な事業であるので、継続して欲しい。 複雑化する相談にも正確に対応できるよう、関係機関との連携を強化していくこと。
			一部改善	職員数に対して相談件数の増加が見受けられる。 人員不足が今後の問題になるように感じる。 事前に予防する対策が必要。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
7	社会福祉協議会支援事業費	一部改善	一部改善	成果指標としてボランティア活動参加率を挙げていることから委員の質問がボランティアに集中したが、社会福祉協議会の活動を評価するために、ボランティア参加率以外の指標を検討されたい。
			一部改善	本事業に基づき、社会福祉協議会へ支援した成果がみえない。 また、社会福祉協議会の実施している事業と全体の収支がみえないことから、この事業を実施する理由が不明である。
			一部改善	社会福祉協議会の職員が専門職としてどのような仕事をしているのか、それが妥当なのか、また、人件費が見合っているのが課題である。 社会福祉協議会は、なくてはならない団体なので、必要な事業として活かされるとよい。
			一部改善	元気な高齢者は就労する時代であるため、ボランティアという活動にも難しさがあると感じている。 地域の中で支え合うという大切な事業をどのようにすれば今後も継続できるのかも含めて検討する必要がある。
			一部改善	ボランティアに偏った事業は今後危険である。 お祭りや運動会は、他課の事業と一緒に実施してはどうか。
8	家庭児童相談員設置事業費	継続	継続	重要な事業なので、継続して欲しい。
			継続	重要な事業であると判断する。 相談員の設置は、継続していくべきと考える。
			一部改善	専門職員を強化することにより、細かなサービスを提供させることができると思う。 対象児童がしっかり生活できるようになる事業にしていただきたい。 児童の将来に関わる事業であることから、更なる体制の充実に努めていただきたい。
			継続	こども子育て課に保健師を配置していることで相談対応も丁寧に実施いただいていると思う。 相談内容の多様化により、困難な事例も多いかと思うが、継続を依頼する。
			継続	窓口の名前や機能など細分化することで、市民側がわかりにくくなっている一面があるのではないかと。 自分自身の時も、困った際に市役所のどの担当に相談すれば良いのかわからなかった。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
9	病児病後児保育所運営費	一部改善	一部改善	良い事業であるため、利用率の向上を。
			一部改善	素晴らしい事業であるが、認知されていなく、また、利用しづらい。登録・利用の方法を簡素化すると利用しやすい。
			一部改善	病気の際に安心して預けられる施設があることは大変助かる。事業の周知方法については、行政だけでなく、各地元コミュニティを利用する方法を検討したらどうか。改善はその時々に必要なことを実施すると良い。
			一部改善	利用者の利便性向上のため、電子申請が可能になるよう改善を希望する。就労と子育ての両立のため、一部改善しつつも、事業の継続を求める。
			一部改善	もう少し簡単で分かりやすい利用方法を示してほしい。利用者登録には、マイナンバーの活用も検討してほしい。事業名等用語が難しい。
10	児童センター管理運営費	一部改善	一部改善	児童センターと児童クラブに分ける意味があるのか。子ども自身が行きたくなるような場になると良いと思う。
			一部改善	児童センターはとても大切だと思うが、名称を含めて0～18歳が利用しやすいようになればと思う。子育てと仕事の両立を考えた時、児童センターの存在は重要である。
			継続	子どもが安全に過ごせる公共的な居場所が必要である。0歳児も一緒に過ごせる施設は少ないため、今後も継続してほしい。
			一部改善	なくてはならない事業である。保護者や子どものために利用してよかったと思ってもらえるような運営を望む。
			一部改善	利用者の年齢や使用方法をもう少し限定しても良いのでは。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
11	空家等対策推進事業費	一部改善	一部改善	総合政策課の空家バンク担当者と連携して利活用を進めること。
			一部改善	空家の安全面に対する指導とともに、空家になる前の抑制施策も重要。空家対策重点特区などを設定し、エリア的に解決を目指してはどうか。空家対策に本気になるのであれば、市役所全体で重点施策とすべきではないか。
			一部改善	空家が近隣住民の不安材料にならないような取り組みを継続して欲しい。除却補助金や減免対象とするなどの検討は慎重に実施していただきたい。
			継続	市民の生活環境の保全のため、継続して欲しい。今後は、高齢者の増加に伴い、さらに大きな課題となっていく恐れがある。
			一部改善	今後の大きな課題であるため、円野町や穂坂町など、比較的高齢者が多い地域への意識醸成が必要。
12	廃棄物処理対策事業費	継続	一部改善	継続してごみ減量などに取り組んでいただきたい。
			継続	ゴミ焼却場の中央市移転に伴い、現在の利便性を確保しつつ改善を進めるということであったが、時として不便になってしまうこともあり得る。
			拡大	市民生活の要となるごみの収集は、市民にとって変更がないことが望ましい。引き続き、安定した事業の取り組みや今後の展開に期待したい。
			継続	生活に欠かせない事業のため、広域利用に向けてより良い運営方法を模索しながら継続されたい。
			継続	現状のごみ収集の方法を変えると、高齢者に対応できないと思う。今後の事業の展開を「拡大」としても、現状のごみ収集の方法を優先すべき。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
13	不妊症対策支援事業費	継続	一部改善	実際に悩んでいる人に情報を届ける工夫をすること。支援に当たって、男女を分ける必要性が感じられない。教育の観点からも、学校で教えてはどうか。
			継続	共働きや晩婚化により、出産の時期が遅くなっていることから、本事業は非常に大切な事業である。事業を継続拡大していくことが必要。
			継続	悩んでいる方が子を授かるための手助けになる制度であることから、治療しやすい環境を整備し、継続されたい。
			継続	重要な事業であることから継続されたい。
14	健康診査事業費	一部改善	一部改善	大切な事業のため、継続されたい。事業名をわかりやすく工夫したらどうか。例) 健康診査事業→肝炎ウイルス・骨粗鬆症検査事業
			継続	受診率の向上や、本人への周知だけでなく、企業や子ども世代の受診を促すようなPRが必要。
			一部改善	今までの検診履歴をアナウンスしてくれるような仕組みがあると受診率の向上に繋がる（次回の受診忘れの防止）。
			一部改善	受診する場所、時間に自由度があれば、受診率の向上に繋がると思う。受診率向上のため、特別な工夫が欲しい。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
15	青少年対策事業費	全部改善	縮小	研修会も社会参加活動も参加者が減っている。 現在実施している有害図書類等自動販売機調査やコンビニエンスストアへの成人向け雑誌に対する調査は、意味があるものなのか疑問である。
			全部改善	青少年の健全育成のためには、青少年に対して直接実施した方がよい。 子供に対して諸問題への考え方などの研修を実施し、学ばせていくべき。
			全部改善	青少年に対し、時代に即した事業への転換が必要。 他の事業との統合も含めて精査が必要。
			縮小	時代性からもコンビニエンスストアなどの立ち入り調査に意味があるのか不明。 研修内容をもっと韮崎市の実態に合うものを実施すべき。 子供たちの今をもっと考えた取り組みが必要。
16	学校安全体制整備事業費	一部改善	一部改善	スクールガードボランティアは危険な仕事であるが、有事の際の保険に入っていないことが気になる。 スクールガードボランティアの方々への保険加入について検討されたい。
			一部改善	子どもたちにとって非常にありがたい存在のため、継続して欲しい。 人口が減ってきており、ボランティアの方々も減ってきていると思う。 地域の共助の一環になるような仕組みづくりが必要。
			継続	子どもたちの安全を守る活動を今後も継続して行って欲しい。
			一部改善	ボランティアのみに頼るとあと数年でこの体制は崩れると思う。 少子化が深刻化していくと思うが、子どもが一人でもいれば見守り体制は必要である。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
17	スポーツコミッション事業費	拡大	拡大	スポーツ振興による健康づくりは大切であるので、本事業を活用し、拡大して欲しい。誰もが参加できるユニバーサルデザイン的なものも目指していただきたい。
			拡大	スポーツを通じた市民の健康拡大のため、体育協会や地区の体育委員などを整理して、ポジティブな運用がなされると良い。大会などのPR広報は外部に委託した方がよい。行政の広報には限界がある。
			拡大	誰でもできるスポーツのイベントから本格的にスポーツを楽しみたい方まで市民全員が楽しめるような事業展開を望む。
			拡大	イベント開催時には、周知を工夫し、多くの市民の目に触れるようにしてほしい。競技内容の工夫も今後検討すべきと考える。
18	赤ワインの丘ブランド化推進事業費	全部改善	全部改善	イベントなどで売ることができるものかどうか。PRのためには、ポスターを貼るようなことだけではうまくいかないのではと思う。
			全部改善	「産地化」と「ブランド化」は一体として考えるべきではない。これらは両輪のように影響し合うが、政策の考え方は全く別物である。
			全部改善	韮崎といえばワインといわれるようなものになる事を期待している。
			拡大	ワインやぶどうのような「地域」をアプローチするものをもっと拡大して欲しい。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
19	消防団運営事業費	一部改善	一部改善	報酬の引き上げもあって拡大している事業であるが、女性消防協力隊員の増加など、より一層の工夫をされたい。
			一部改善	消防団OBである消防団活動協力員の価値をさらに上げ、数を増やしていくことが重要。
			拡大	地域を守り、災害に強いまちづくりのために大切な事業である。報酬面と、女性の活躍が増えるよう拡大とした。
			一部改善	報酬額を増加させることは良い。女性消防協力隊への補助金額の増加も望む。減災の大切さを周知するより、LINEやアプリなど、防災・減災情報を把握しやすいツールの周知に努めて欲しい。
20	地区活動推進事業費	一部改善	一部改善	自治会改革検討委員会の提言に基づき、地区役員の負担の軽減について検討しながら改善されたい。
			一部改善	自治会のスリム化と、住民に対しての「自治会」の教育（自治会の本質は自分たちで治める）が必要。
			一部改善	自治会組織は、地域コミュニティの基盤であるが、時代の流れや社会の変化に合った組織として事業を整理して行って欲しい。
			一部改善	地区長等の仕事のスリム化を進めて欲しい。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
21	障害者等地域生活支援事業費	一部改善	一部改善	手帳の取得者数が増えないことに疑問を感じている。 必要な人に必要なサービスを届けることができるよう、見えないニーズを注視して欲しい。
			一部改善	必要なサービスであるため、継続して取り組んでいただきたい。
			一部改善	その時々でニーズや求められるサポートは変化すると思うが、その都度見直しや改善をして欲しい。
			一部改善	65歳未満の障害者の方と一般の方を分けしない市のイベントがあると良いと思う。 今後も障害者への支援を考えて行って欲しい。
22	公共下水道運営事業費（下水道事業費用）	一部改善	一部改善	コスト削減に努めながら事業を推進されたい。
			一部改善	50年後にも残るインフラ施設であるため、整備しすぎることにならないようにすべき。 事業計画の再検討時は、市として、どこにインフラを集約させるかを考え、健全な経営に努められたい。
			一部改善	市民のライフラインとして非常に大切な事業である。 今後も改善しながら継続して行って欲しい。
			一部改善	事業計画の見直しまでにコストの調整は必須であると考えている。 令和7年度からの見直し時にも、ぜひ市民の意見を聞いて欲しい。

	事業名	全体評価	委員評価コメント	
			評価	コメント
23	男女共同参画社会づくり事業費	継続	継続	時代に即して改善しながら積極的に推進されたい。
			一部改善	若い世代（特に働く男女）を推進委員とし、より良い提言を求めると良い。
			継続	引き続き、多種多様な人が暮らしやすいよう計画を進められたい。
			継続	SDGsに関わる機会が増えていると思うが、市としても大切な取り組みであると思う。
24	まちづくり活動推進事業費	一部改善	一部改善	立派な活動をしている団体に補助している実績がある。 これらの団体の情報を広く発信することも考えてみてはどうか。
			一部改善	まちづくり団体を後押しする良い事業となっている。
			一部改善	自分たちでまちづくりをしていこうという団体が増えるような事業展開を望む。
			一部改善	スタートに必要な額の検討は必要（毎年）。 活動内容をもっと市民に広めて欲しい。